

貯 法：気密容器・室温保存
 使用期限：外箱等に表示
 注 意：【取扱い上の注意】の項参照

制酸・緩下剤

酸化マグネシウム錠 250mg「TX」

酸化マグネシウム錠 330mg「TX」

Magnesium Oxide 250mg Tab「TX」







Magnesium Oxide 330mg Tab「TX」

酸化マグネシウム製剤

日本標準商品分類番号
8 7 2 3 4 4 ・ 8 7 2 3 5 5

	承認番号	薬価収載	販売開始
錠 250mg	21800AMY10029000	2006年7月	2006年7月
錠 330mg	21800AMY10030000	2006年7月	2006年7月

【組成・性状】

販売名	酸化マグネシウム錠 250mg 「TX」	酸化マグネシウム錠 330mg 「TX」
有効成分 (1錠中)	日局酸化マグネシウム 250mg	日局酸化マグネシウム 330mg
添加物	結晶セルロース カルメロースカルシウム ショ糖脂肪酸エステル	
色・剤形	白色・円形の素錠	
外形 (表面)		
外形 (裏面)		
外形 (側面)		
直径(mm)	8	9
厚さ(mm)	3.8	4.3
重さ(mg)	290	400
識別コード	TX II	TX 12

【効能・効果】

下記疾患における制酸作用と症状の改善

- 胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）
- 便秘症
- 尿路尿酸カルシウム結石の発生予防

【用法・用量】

- 制酸剤として使用する場合：
酸化マグネシウムとして、通常成人1日0.5～1.0gを数回に分割経口投与する。
 - 緩下剤として使用する場合：
酸化マグネシウムとして、通常成人1日2gを食前又は食後の3回に分割経口投与するか、又は就寝前に1回投与する。
 - 尿路尿酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合：
酸化マグネシウムとして、通常成人1日0.2～0.6gを多量の水とともに経口投与する。
- なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 腎障害のある患者 [高マグネシウム血症を起こすおそれがある。]
- (2) 心機能障害のある患者 [徐脈を起こし、症状が悪化するおそれがある。]
- (3) 下痢のある患者 [症状が悪化するおそれがある。]
- (4) 高マグネシウム血症の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

本剤は吸着作用、制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 テトラサイクリン、ミノサイクリン等 ニューキノロン系抗菌剤 シプロフロキサシン、トスフロキサシン等 エチドロン酸二ナトリウム	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるため、同時に服用させないなど注意すること。	マグネシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。
セフジニル		機序不明
高カルシウム血症改善イオン交換樹脂製剤 ポリスチレンスルホン酸カルシウム、ポリスチレンスルホン酸ナトリウム	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがある。また、併用によりアルカロシスがあらわれたとの報告がある。	マグネシウムがこれらの薬剤の陽イオンと交換するためと考えられる。
活性型ビタミンD ₃ 製剤 アルファカルシドール、カルシトリオール	高マグネシウム血症を起こすおそれがある。	マグネシウムの消化管吸収及び腎尿細管からの再吸収が促進されるためと考えられる。
大量の牛乳、カルシウム製剤	milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカロシス等）があらわれるおそれがあるため、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序：代謝性アルカロシスが持続することにより、尿管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカロシス、腎機能障害のある患者
ジギタリス製剤 ジゴキシン、ジギトキシン等 鉄剤等	これらの薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるため、服用間隔をあけるなど注意すること。	マグネシウムの吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇によると考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
代謝異常 ^(*)	高マグネシウム血症
消化器	下痢等

注) 長期大量投与により発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。)

6. その他の注意

長期・大量投与により胃・腸管内に結石を形成し、腸閉塞を起こしたとの報告がある。

【薬効薬理】¹⁾

酸化マグネシウムは胃内において制酸作用を示し、制酸作用の発現時に二酸化炭素を発生しないため刺激が少ないとされる。酸化マグネシウム1gは0.1mol/L塩酸の約500mLを中和できる。水に不溶性なため、炭酸水素ナトリウムに比較すると制酸性は遅効性であり、作用時間も長い。また、本剤は腸内においては重炭酸塩となって緩下作用を現す。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：酸化マグネシウム

化学名：Magnesium Oxide

分子式：MgO

分子量：40.30

性状：酸化マグネシウムは白色の粉末又は粒で、においはない。水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。希塩酸に溶ける。

空気中で湿気及び二酸化炭素を吸収する。

【取扱い上の注意】

1. 本剤は湿気に影響されるので、開封後はできるだけ速やかにご使用下さい。また、開封後は湿気を避けて保管して下さい。
2. 金属と擦れることにより黒色になることがあります。

【包装】

250mg, 330mg	PTP包装	100錠 (10錠×10)
	PTP包装	1000錠 (10錠×100)
	バラ包装	1000錠

【主要文献と文献請求先】

(主要文献)

- 1) 第十四改正日本薬局方解説書C1392 (廣川書店)

(文献請求先)

株式会社トライックス

〒136-0071 東京都江東区亀戸4-22-1

電話 (03)3682-1096 FAX (03)3682-1084



製造販売元(輸入元)

株式会社トライックス

東京都江東区亀戸4-22-1